サークルプラザ

スポーツチャンバラを楽しむ人吉支部の子供たち

全日本護身道連盟人吉支部

安全で楽しく〝心身〟を鍛錬

「メーン」「コテー」「アシー」・子供たちの明るい掛け声が道場いっぱいに響く、全日本護身道連盟人吉支部・国際スポーツチャンバラ協会人吉支部（村田潤次支部長）は会員六十五人、子供二十人。安全で楽しさいっぱいのスポーツチャンバラを通じて心身の鍛錬に励んでいる。

スポーツチャンバラは横浜市の武道家、田辺哲人氏が力の弱い人でも身を守れるようにと考案。約六十㌢のスポンジ製ソフト小太刀を使い、顔には護身用マスクを付け、試合を行う。剣道では禁止されているひざやすねへの攻撃もでき、たたかれても痛くないため、新しいスポーツとして女性や子供たちにも人気を集めている。

同支部の発足は、県内でもっとも早く平成元年十二月。県内には人吉支部のほかに熊本市に二支部、球磨郡山江村にも支部がある。

人吉支部では、毎週水曜日午後六時から、人吉市の人吉警級月道場を借りて練習を実施。市職員の村田支部長（三五）が中心となって幼稚園から小学生までの子供たちを対象に指導。

準備運動、基本の打ち方、大人とのかかり稽古（げいこ）と楽しい中にも、礼儀を重んじた練習を行っている。子供たちは白い武道着姿で気合十分。小学生高学年の女の子が大人顔負けの素早い動きを見せ、連続技を決める場面も。

昨年十二月には、初めて学校週五日制の土曜休日を利用して小学生を対象にした無料体験教室を実施。支部の会員数を増やした。

メモ　会費は月五百円、スポーツ安全保険（年間三百六十円）の加入が必要。詳しい問い合わせは人吉市教委社会教育課内、村田さん＝〇九六六（二二）七〇二八＝へ。